

# コンクリート主任技士試験完全攻略問題集 2017 年版 訂正箇所

2017 年 10 月 18 日

読者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、下記のとおり修正してお読み下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

19 ページ 問題 - 3 の解説 赤字部を訂正

$$\text{碎石Bの粗粒率} = \frac{x+98+100+100+100+300}{100}$$

$$6.24 \times 0.5 + \left( \frac{x+98+100+100+100+300}{100} \right) \times 0.5 = 6.66$$

84 ページ 演習問題 A - 3 の解説 (2) 赤字部を削除

～時間を計測し算出する。したがって、この記述が誤り。

84 ページ 演習問題 A - 3 の解説 (3) 赤字部を追加

～所定の補正を行うよう規定されている。したがって、この記述が誤り。

84 ページ 演習問題 A - 3 の解答

解答 (3)

89 ページ B - 3 の解説 (3)

(3) JIS A 5021 には、構造物の解体などにより発生したコンクリート塊に対し、破碎、磨砕、分級などの高度な処理を行って製造したコンクリート用再生骨材 H について規定されている。また、JIS A 5308 には再生骨材 H の適用範囲として、普通コンクリート及び舗装コンクリートが規定されている。

92 ページ B - 5 の解説 赤字部を訂正

$$S_v + W_v = \frac{450.0 - S_w}{2.61} + \{773.2 - (450.0 - S_w)\} = 500 \cdots \text{式⑥}$$

式⑥より  $S_w = 7.11$  (g) が得られる。

$$\text{表面水率 (\%)} = \frac{S_w}{S} \times 100 = \frac{7.11}{(450.0 - 7.11)} \times 100$$

$$= 1.61 \div 1.6$$

137 ページ F - 7 の解答

解答 (4)

178 ページ 演習問題 H - 3 の解説 赤字部を訂正  
50 年後に到達する中性化深さは 14.1 = ~

192 ページ I - 5 の解説 赤字部を訂正  
単位セメント容積 =  $378/3.16 = 120$  (L/m<sup>3</sup>)

207 ページ 演習問題 I - 5 の問題 赤字部を訂正  
下表は、砂の表面水率が 2.5% ~

207 ページ 演習問題 I - 5 の解説 赤字部を訂正  
砂の表乾質量 =  $750 - (750 \times 0.025) = 731$  (kg/m<sup>3</sup>)

224 ページ 演習問題 J - 5 の問題 赤字部を訂正  
~ただし、細骨材と粗骨材は別計量、~

226 ページ 演習問題 J - 5 の解説 赤字部を訂正  
 $(62 - 60) \div 60 \times 100 = + 3.33 \Rightarrow + 3\%$  で (d) は不合格  
よって、正しいものは二つとなる。

226 ページ 演習問題 J - 5 の解答  
解答 (2)

314 ページ M - 6 の解説 赤字部を訂正  
 $\sigma_t$  (t) : 材齢 t 日における最大主引張応力

323 ページ M - 11 の問題 (4) 赤字部を追加  
(4) 一般の水中コンクリートに比べて材料分離抵抗性が高く、~

訂正事項および補記は、弊社ホームページ ([www.beton.co.jp](http://www.beton.co.jp)) にてお知らせしておりますので、ご参照ください。